

とちぎ市議会だより

第64号(12月定例会)

2025.2.20発行



みんな、地域の一員

～災害は市民みんなで備える! 日本人も外国人も!!～



《特集》

- 学校体育館のエアコン設置に向けて・・・3
- より活発な議会を目指して・・・・・・12
- PTA役員と議員が意見交換・・・14～15

表紙担当：天谷委員・内海委員 協力：市国際交流協会

《その他の記事》

- 一般会計補正予算（第7号）・・・・・・2
(12月定例会で決まったこと)
- 表紙写真の説明・・・・・・3
- 17人の議員が市政を質す・・・4～12
(一般質問)

12月定例会で決まったこと(主な議案等)

12月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。

各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。

下記の二次元コードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



一般会計補正予算(第7号)

議案第97号
令和6年度一般会計
補正予算(第7号)

可決 全会一致

議案の概要

歳入歳出予算にそれぞれ18億7437万2千円を追加し、予算総額を798億780万円とするもの。

《補正予算の主な内容》

- ふるさと応援寄附事業費 2億9,702万円
 - とちぎクリーンプラザ施設保守整備事業費 1億5,153万円
 - ナラ枯れ被害緊急対策事業費 3,850万円
 - 市道1033号線交通安全施設整備事業費(栃木大宮町) 3,000万円
- ※金額は増額(千円以下切り捨て)

主な質疑応答

質 ふるさと応援寄附の令和6年度末の見込みは

答 令和6年11月末現在で約9億500万円の寄附があり、最終的にはさらに増えることを想定している。

質 障がい者自立支援事業費の増加要因は

答 特に子どもの利用が増えており、医療の発達により、これまで発見されず支援を受けることができなかった方への支援や幼いうちからの支援ができるようになったことが一因であると考ええる。

質 市内小中学校のクビアカツヤカミキリの被害状況は

答 サクラの木621本に対し、約半数に当たる259本に被害が確認されている。特に被害の大きい28本を補正予算で対応することとし、伐採と枝下ろしを行う予定である。

調節池整備に向けて用地を購入(市街地浸水対策)

議案第105号
財産の取得について(清水川調節池整備事業用地)

可決 全会一致

議案の概要

箱森町地内に整備を計画している清水川調節池の事業用地として土地を取得することについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 調節池の機能は

答 調節池は河川に隣接して設置し、大雨等で河川の水量が大幅に増加した際に下流側に流れる水の量を調整するものである。

質 清水川調節池の整備効果は

答 下流域に当たる祝町や富士見町などの中心市街地の浸水被害の軽減を図ることができる。

質 用地購入後のスケジュールは

答 速やかに詳細設計を行い、来年度には整備工事を進めたいと考えている。



学校の照明をLED化

議案第106号
財産の取得について
(学校施設(20校)LED照明器具)
議案第107号
財産の取得について
(学校施設(19校)LED照明器具)

可決 全会一致

議案の概要

公共施設の省エネルギー化を進めるため、学校施設LED照明器具を譲渡特約付賃貸借契約により取得することについて議会の議決を求めるもの。

主な質疑応答

質 LED化による効果は

答 電気の使用量が約3割削減され、削減された電気料金分で改修に要する費用を賄える見込みである。

質 工事中の学校への影響は

答 学校によって条件が異なるため、業者と学校を交えた調整を綿密に行い、学校運営に支障をきたすことがないように工事を進めていきたい。

議案等の審議結果

12月定例会では、議案23件、請願1件、陳情1件、意見書案1件が審査されました。

なお、賛否が分かれた議案等はありませんでした。

※議案は全て全会一致で可決されました。請願第4号（交通信号機存続に関する意見書の提出を求める請願）は全会一致で採択となり、それに伴い意見書案第3号（交通信号機の存続を求める意見書）が提出され、全会一致で可決されました。陳情第7号（政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認を求める陳情書）は賛成者なしで不採択となりました。



▲12月定例会最終日の議場

▶ 学校体育館のエアコン設置に向けて（12月定例会で関連補正予算を可決）

▶ 令和7年の夏ごろに中学校体育館にエアコン設置予定

学校体育館へのエアコン設置に関しては、複数の議員が一般質問において「近年の異常な暑さにより、体育館での授業や部活動の際に熱中症の危険性が非常に高く、速やかに実施すべき」などと発言し、市当局に対して早急な実現を求めてきました。

さらに、令和5年12月に実施した「中学生議会」においても、中学生議員が質問したことから、市民も高い関心を寄せる課題という認識がありました。

これらを受けて、12月定例会において、市長から中学校体育館へのエアコン設置に関する補正予算案が提出されるに至り、全会一致で可決され、設置に向けた準備が進むことになりました。

今年の夏ごろまでには、中学校の体育館（統合予定の学校を除く）にエアコンが設置される予定です。

▶ 産業教育常任委員会では「エアコン設置の先進事例」を視察（12月24日）

小中学校のエアコン設置について実情を把握するため、小山市への視察を実施しました。運用実態の説明を受けた後に、エアコンが設置された小山第一小学校体育館を視察し、参加した議員からは「本市も速やかに小学校体育館にもエアコンを設置すべき」などの意見がありました。



小山第一小学校体育館のエアコン▶



みんな、地域の一員

～災害は市民みんなで備える！ 日本人も外国人も!!～

災害発生時には、市民相互の助け合いが必要です。

日本人も外国人も関係ありません。皆が地域の一員です。

しかし、災害発生時、外国人住民の方は、言葉の壁があり、避難情報が理解できなかったり、避難所でも周りの方と意思疎通が難しいなどの課題があります。

表紙の写真は、11月30日に市国際交流協会の協力の下、市の総合防災訓練に外国人住民の方（フィリピン8人、ネパール10人）に参加いただき、避難所での受付訓練などを行った際の様子を撮影したものです。

（表紙担当：天谷委員・内海委員 協力：市国際交流協会）





小太刀 孝之 議員
創政会

もやさないごみ専用の ごみ袋導入検討を！

現在、もやさないごみは、透明または半透明のビニール袋に入れて出すことになっている。

市販のビニール袋は市が求める半透明の判断基準（中身が見える）を満たしているが、多くの家庭では手軽さや利便性を考慮し、レジ袋を使用している場合が多い。

しかし、レジ袋にはさまざまな透明度のものが存在するため、透明度の判断基準が難しく、中身が見えない等の理由から回収されないケースが散見される。もやさないごみ専用袋導入の見解を伺う。

答弁 茅原生活環境部長

半透明の袋の基準について
分かりやすくお知らせしていく

●本市の一般廃棄物処理
○東武線新大平下駅東口
駐輪場



近年、もやさないごみに混入する小型充電式電池やスプレー缶を原因としたごみ収集車の火災やごみ処理施設での発火事故が起きている。

これらの事故の要因の一つとして、もやさないごみが白色や乳白色などの色が濃い袋で排出され、中身が確認できずに収集していたことが考えられる。

もやさないごみは、排出物の種類、形状、材質、大きさ、重さなどが多岐にわたるため、指定袋の作成に当たっては、袋の大きさや厚さ、強度等の規格設定が難しいと考える。

また、「透明または中身が見える半透明の袋」であれば、レジ袋でも排出可能であるという市民の利便性なども踏まえ、現状の排出方法について理解いただけるよう周知に努め、半透明の袋の基準については分かりやすくお知らせしていきたい。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



内海 まさかず 議員
創志会

議会から疑問の声があっても 予算提出を強行した結果

令和6年9月議会では、補正予算を取り下げ、再提出するという栃木市において前代未聞なことがあった。

その内容は民間が設置した子どもの屋内遊戯場への利用者補助に関し、議会から疑問、批判があっても9月議会に補正予算を提出した。

結局は、積算根拠の誤りという初步的ミスがあり、それをチェックできない管理体制があらわになり、今まで築き上げてきた行政の信頼性を著しく損ねる結果となった。

この失態の責任は誰にあるのか。

答弁 大川市長

最終的な責任は私にあり、
同様のミスが再発しないよう
改善策を講じる

今回の件で、市議会および市民の

○祝町地内未利用地及び道路
○人事院勧告
○特定のNPO法人優遇措置
○庁舎管理規則
●9月議会での補正予算に
関する失態



皆さまに大変ご迷惑をお掛けした。

本件の責任は、第一義的には、資料作成およびチェックプロセスに関与した担当部門の管理者にあるが、最終的な責任は私にあり、市政全体としてこのようなミスが再発しないよう、改善策を講じていく。

一方で、市の職員においては、失敗を恐れずに新たな政策にチャレンジする精神も持つてほしいと思っているので、「一度も失敗をしたことがない人とは、何も新しいことに挑戦したことがない人である」との名言もあるとおり、この経験を糧に、さらに前向きに、創造的に取り組み、市民の皆さまにより良いサービスを提供していくことができる職員を引き続き育てていきたいと考えている。



次世代を担う子どもたちに 平等な教育の機会を



川田 俊介 議員
真政クラブ

親の収入等の理由により、教育を十分に受けられない子どもを生まなためにも、教育の機会を保障する支援が大切である。

支援制度として、奨学金制度があるが、市の奨学金制度は利用件数があまり多くないと聞いており、進学に関する相談等を市民から受け、制度を調べる中でどの奨学金が使えるのか分かりづらいと感じた。

すでにある制度を拡充し、幅広く周知することで教育の機会を確保していくことができるのではないかと考えるが、制度の拡充に関する考えを伺う。

答弁 佐藤教育次長

制度拡充の検討と分かりやすい周知を行っていく

- 教育機会の保障
- 不登校への対応
- 高齢者の移動支援
- 再犯防止対策



本市では、給付型の「とちぎ吾一奨学金」、貸与型の「ゆめ応援奨学金」、卒業後、市内に5年間定住すると返還が免除となる、条件付き貸与型の「住まいる奨学金」の、3種類の奨学金制度を設けている。

また、募集に当たっては、市ホームページや広報紙への掲載と併せて、募集要項を市内の中学校や高等学校等および近隣市町の高等学校に送付するほか、市の施設でも配布するなど、制度の周知に努めている。

しかし、奨学金については、国や県など、本市以外にも同様な制度があり、自分自身に合ったものが分かりにくい状況にある。

そのようなことから、多くの本市在学および出身の学生が利用できるように、貸与型の所得制限を見直すなどの制度拡充の検討を行うとともに、本市の奨学金制度の特徴を明確にしたより分かりやすい周知を行っていく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

多様な読書環境の整備のために 電子図書館の導入を



小久保 かおる 議員
公明党議員会

電子書籍は、既存の書籍をデータ化したものであり、利用者はインターネットを介して、24時間365日いつでも貸し出し・返却ができ、図書の盗難・破損・未返却の損害をなくすことができる。

また、2019年には書籍を視覚で認識することが困難な方の読書環境の整備を推進する読書バリアフリー法が公布されており、デジタル社会に対応した読書環境の整備や多様な読書機会の確保のために導入を期待するが、電子図書館の取り組みに関する考えを伺う。

答弁 佐藤教育次長

令和7年度からの導入に向けて指定管理者と協議を進めている

電子図書館は、今まで図書館を利

- 若者が暮らしたいまちづくり
- 不登校対策
- 図書館と読書活動の推進



用していない市民の方の利用拡大や、「読書バリアフリー法」への対応等ができるようになるが、電子書籍を読める期間が限定されるため、図書館において紙の書籍のように保管ができないこととなる。

また、デジタル機器を使うための基礎知識がない利用者への支援等の課題もあることから、それぞれの特徴を生かしながら、図書館としての市民サービスの提供に努めていく。

令和5年度の指定管理者募集要綱に電子書籍の取り扱いについて令和7年度から導入することを明記し、現在、受託した指定管理者が他市町の導入状況や市民ニーズの把握を行い、導入に向けて本市と協議を進めている。



低速電動コミュニティバス 導入に関する市の考えは



古沢 ちい子 議員
公明党議員会

観光を取り巻く社会経済情勢等の変化を正確に把握した上で、各種施策を展開することで来訪者に対し質の高い観光を提供するなど、総合的・戦略的な観光プロモーションを行う持続可能な観光まちづくりに関する取り組みについて伺う。

特に脱炭素化として、桐生市の低速電動コミュニティバスの展開は、先進的であり本市でも最適と思うが、導入についての見解を伺う。

答弁 大川市長

先進自治体から情報収集するなど調査研究を行っていく

本市に来訪する観光客数は、観光バスの往来や街なかを散策する方、イベントの集客数の増加など、徐々にコロナ禍前に戻りつつあることが

●観光振興事業
○災害に強いまちづくり
の進捗状況



ら、今後、さらなる観光基盤の強化のため、地域内の移動手段の確保は重要だと考えている。

特に栃木県から伝建地区までの移動については、提案いただいた「低速電動コミュニティバス」は、環境に優しい電気自動車であり、ゼロカーボンシティを目指す本市にとって有効な移動手段と考えられる。

一方、車両の購入や運営に係る多額な費用、運営をどこで担うかなど課題も多くあることから、国等の助成制度の検討や、関係各所との連携を図るとともに、「低速電動コミュニティバス」を導入している先進自治体から情報収集するなど、調査研究を行っていく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

市街化調整区域の下水道事業は 費用対効果で決めるべき



針谷 育造 議員
創志会

市街化調整区域において下水道整備事業の実施を決定するに当たっては、対象地区の人口の見込み、個別世帯に対する接続の意向や将来的な居住利用の見通し調査、さらに合併浄化槽を導入し補助する場合の費用と下水道事業実施の場合の費用を比較するなど、市街化区域よりも慎重に調査・検討を行うべきと思うが、市の考えを伺う。

答弁 大川市長

地域性や期間、コストを勘案し事業効率や有効性により判断する

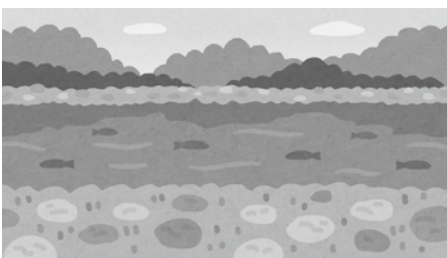
下水道事業については、河川等の公共用水域の水質の保全を図ることに寄与し、健康で快適な生活環境を確保するために欠かすことのできない、基幹的な社会基盤である。

○新里地区の下水道整備計画
●市下水道計画の見直し
○県南広域的水道事業
の進捗状況



そのようなことから、認可を受けている区域については、都市の健全な発展のため、早期に完成させることを念頭に置き、国の補助制度を活用しながら、より少ない費用で、より投資効果が得られるよう整備を進めている。

一方で、下水道事業を取り巻く社会情勢も変化していることから、今後実施する事業については、市街化区域を優先的に進めるなど地域性や完成までの期間、コストを勘案し、事業効率や有効性により判断していく。



とちぎ秋まつりのさらなる 発展と充実へ



福田 裕司 議員
創政会

令和6年「とちぎ秋まつり」は、催し物の経済的効果を含め、消費行動の加速、本市経済効果の向上にも大きく貢献できたイベントであったと感じられる。

令和6年「とちぎ秋まつり」が本市に及ぼす経済効果について、市の見解を伺う。

答弁 高野産業振興部長

まつりを楽しめる仕掛けを 検討し、さらなる経済効果 につなげていく

来訪者の秋まつり会場における支出額は、アンケートの結果および観光基本計画の消費額を勘案すると、1人当たりおおむね2000円程度と考えられる。

これにより、今回の秋まつりは

○自転車に関する道路交通法改正に伴う本市の状況
●令和6年とちぎ秋まつりの成果と振り返り
○本市職員名札標記変更（カスハラ対応）での期待される効果



入込客数が21万人であり、約4億2000万円の消費額があったものと試算される。

このほか、市内ホテルの宿泊費や、会場設営・準備に伴う市内事業者への業務発注などの費用も含めると、秋まつりが本市に及ぼす経済効果は大変大きいものと考えられる。

次回開催に向けては、出店数の増加、山車曳ぎ体験や同時開催イベントの充実など、来訪された方々が長時間滞在してまつりを楽しめるような仕掛けを検討し、さらなる経済効果につなげていく。



コロナ禍を経て6年ぶりに通常開催となった秋まつり（令和6年11月）

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

データセンター誘致により 得られる経済効果は



青木 一男 議員
自民未来

データセンターの誘致を早くから行っている千葉県印西市では、誘致による税収増が財政健全化に大きくつながっているとのことである。

本市においても、データセンター誘致により、さまざまな経済効果が見込まれるようだが、今後どのような効果が得られるのか伺う。

また、固定資産税や都市計画税などの税収増も見込まれるが、財政力指数や経常収支比率など財政面にも与える影響を伺う。

答弁 高野産業振興部長

固定資産税と都市計画税の 税収が増加し本市の財政基 盤が強化される

データセンターの誘致により、施設整備に携わる建設関連需要や、創

●データセンター誘致
○不登校支援



業後の就業者や来訪者による新たな消費活動など、数多くの分野への経済効果が見込まれる。

また、今回の分譲地においては、データセンター2棟の立地で、あくまでも他市の事例を基に、独自に試算した額として、固定資産税と都市計画税の税収が年間約20億円と見込まれることから、これにより本市の財政基盤が強化され、財政力指数や、経常収支比率の改善にもつながることが想定され、持続可能な財政運営に効果があるものと考えている。



栃木インター産業団地のイメージパース

統合を控える寺尾中、皆川中 体育館への空調設備の設置は



小堀 良江 議員
真政クラブ

令和 7 年 4 月から 10 年間のリース方式にて、中学校 11 校の体育館に空調設備を整備する方針が示されたが、「寺尾中および皆川中の体育館は除く」とされている。

寺尾中および皆川中の体育館も、教育活動にとどまらず、災害時には避難所として活用されることから、短期リース等を検討し、設置に向けた対応を求めるが、市の見解を伺う。

答弁 佐藤教育次長

他の中学校の空調整備に合わせてスポットクーラーを設置する

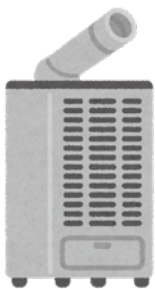
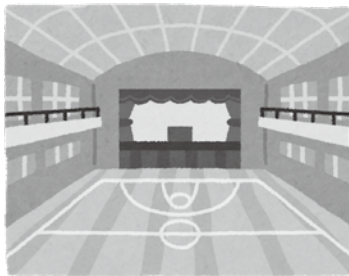
寺尾中学校および皆川中学校については、令和 8 年 4 月の統合に伴い、学校としての機能がなくなることから今回の整備の対象学校には含めて

●学校体育館への空調設備の整備
○西部地域中学校の統合に伴う対応
○とちぎ秋まつり



いない。

しかしながら、令和 7 年度の夏季における熱中症対策については、他の中学校と同様に教育活動の機会を確保する必要があると認識している。そのため、他の中学校において空調設備が整備される時期に合わせて、体を冷やせる可動式のスポットクーラーを設置するなどの対応をしていく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

都賀西方スマートインター を利活用し周辺開発を！



氏家 晃 議員
自民未来

都賀西方スマートインターは、令和 5 年 9 月の開通から約 1 年で 1 日の平均利用台数が約 1400 台となっており、順調な滑り出しであると考ええる。

北部地域では、都賀インターに加えて、都賀西方スマートインターの開通により、地域住民の間でも活性化への期待が高まっている。

このスマートインターを最大限に生かし周辺開発を進めるべきであると考え、市の見解を伺う。

答弁 癸生川総合政策部長

地の利を生かした土地利用を図る

都賀西方スマートインターが令和 5 年 9 月に開通し、周辺企業等へのアクセス時間が短縮されることによ

○令和 7 年度予算編成
●市内 4 インターチェンジの周辺開発
○主要地方道栃木栗野線整備事業 深沢 II 工区
の進捗状況



り産業振興による地域活性化や周辺ゴルフ場へのアクセスの向上、さらには都賀、西方地域内への新たな周遊ルート形成による観光振興も期待される。

また、救急搬送に要する時間が短縮されるほか、災害時の救援活動や緊急物資の輸送の迅速化なども期待されるとともに、ルートの分散による渋滞緩和や安全性も向上されるなど、市民の安全・安心な暮らしの確保につながるものと考えている。

今後、同スマートインター周辺においては、第 2 次栃木市総合計画の土地利用構想図で位置付けしている産業集積ゾーンとして、地の利を生かした土地利用を図っていく。



令和 5 年 9 月に開通した
都賀西方スマートインター

栃木駅南口の再開発実現の可能性は



市村 隆 議員
真政クラブ

市内の高校生との意見交換会では「栃木駅南口のにぎわいについて」が毎回要望に上がっている。

人口減や高齢化による税収の減少ペースは企業誘致や店舗出店で補うべきであり、特に栃木駅南のとちぎメディアカルセンター周辺は市街化調整区域のままであるが、このような状況をいつまで続けるつもりなのか。新しいまちづくりをするべきと思うが、駅南口再開発の可能性を伺う。

【答弁】 癸生川総合政策部長

社会情勢等を勘案しながら将来のあるべき姿を検討したい

栃木駅南口は、これまで鉄道の連続立体交差事業による南北市街地の一体化や、土地区画整理事業による

○産業振興
●まちづくり



駅前前の街区形成と併せて、民間事業者による宅地開発等により、良好な居住環境と街並みを形成している。

平成28年には、都市機能に必要な医療施設として、とちぎメディアカルセンターしもつが建設され、本市医療の中枢を担っているほか、令和6年7月には株式会社エイジェックによる最先端の計測機器やトレーニング機器を備えたスポーツ科学総合センターがオープンし、県内外に広くその魅力が発信され、民間活力による新たなにぎわいの創出が期待される。

現在、片柳町2丁目地内で進められている都市計画道路沼沼和田川原田線の工事が完成すると北口と南口を結ぶ幹線道路として、人流や物流にも変化が表れると考えている。

このことから当地区は、今後さらなる発展と新たなまちづくりが期待される立地環境なので、社会情勢や周辺の土地利用の動向を勘案しながら、将来のあるべき姿を検討したい。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

努力義務化されたヘルメット着用普及に向けて購入費の助成を！



森戸 雅孝 議員
真政クラブ

自転車ヘルメットの着用率向上の対策の一環として購入費の一部を助成している自治体も多くある。

県内の人身事故のうち約4分の1に自転車に関係しているとの報道もあり、自転車乗用中の交通事故で亡くなった方は約5割が頭部に損傷を負っているとの報告もある。

ヘルメットの着用は努力義務とはいえ、安全・安心の観点から着用が市民の間で定着するようインセンティブとして、購入費の一部助成をする考えはないか伺う。

【答弁】 茅原生活環境部長

助成による費用対効果を考慮し慎重に検討する

自転車ヘルメットは、事故発生時

○農地の適正管理
●自転車ヘルメットの着用率向上への取組
○公共交通のあり方



に、自転車運転者自身の命を守る大変重要なものと認識している。

ヘルメット購入に当たっての助成は、国・県、他市町の動向等も踏まえ、助成による費用対効果も十分に考慮しながら、慎重に検討していく。



市が運営するシェアサイクルではヘルメットも貸し出している





白石 幹男 議員
無会派

加齢性難聴者に対する補聴器購入補助制度の導入を！

加齢性難聴者に対する補聴器購入補助制度の導入については、これまで、令和 4 年 9 月、5 年 9 月の議会の一般質問において取り上げてきた。

令和 5 年 9 月議会での質問に対しては「対象者の検討、障がい者制度等との調整もあり、対象者、助成金額等も含め、市民に利用していただける制度を目指し、十分検討を重ねていく」との答弁があった。

その後の検討状況および今後の対応について伺う。

答弁 首長保健福祉部長

令和 7 年度から補助制度導入予定

令和 5 年 9 月議会では答弁したとおり、アンケート調査により、聞こえにくさを感じている高齢者が多いと

○不登校児童生徒への対応
○学校給食費無償化の拡充
●加齢性難聴者に対する補聴器購入補助制度の導入



いう結果が得られたことから、これまで、他の自治体に対する照会調査や全国の状況を集約した文献などを参考にしながら、耳鼻科医師からもヒアリングを行い、補助制度の導入に向けて検討を行ってきた。

その結果、健康寿命の延伸と認知症予防を図ることを目的に、耳の聞こえにくさから生活に支障があり、耳鼻科医師が補聴器の必要性を認め、低所得の高齢者とし、障がい者制度との調整も図りながら、適切な制度運営を進めたいと考えている。

また、補聴器を継続的に利用いただくためには、本人の状態に合った調整が必要であることから、購入先は、専門の知識・技能を持った販売店から選択いただく方式にすることを検討している。

今後、助成金額等、他市の状況を参考に細かい点の検討を行い、令和 7 年度の補助制度の導入に向けて進めていく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス



福富 善明 議員
真政クラブ

イネカメムシ対策として渡良瀬遊水地の適正管理を

令和 6 年は、水稲に被害を及ぼす害虫「イネカメムシ」が全国的に大量発生した。

市内では、藤岡地域のうち渡良瀬遊水地周辺において被害が顕著であったとのことであり、遊水地やその周辺の雑草繁茂地帯や堤防の草刈りを徹底し、被害の未然防止や軽減を図るべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 高野産業振興部長

関係機関等と連携し防除対策と生産者への周知を行う

渡良瀬遊水地では、ヨシや希少植物の生育を促すことや病害虫の防除などを目的として、渡良瀬遊水地ヨシ焼連絡会が毎年 3 月にヨシ焼きを実施しており、病害虫に対する有効な防除対策の一つと考えている。



イネカメムシは収量減や品質低下の原因に

また、国土交通省利根川上流河川事務所が遊水地の堤防や管理用道路なども含めて、除草等による保全管理を行っている。

市では、同事務所とカメムシ等の農業被害をもたらす病害虫の生態や農作物に与える影響等について情報を共有し、理解を得るとともに、病害虫対策という観点も考慮した除草等による敷地管理の継続的な協力をお願いしていく。

また、下都賀農業振興事務所の主催により関係者を集めた対策会議が予定されているので、生産者に対し、次の作付けへの影響を抑えるための対策等の有益な情報を積極的に周知していく。

●イネカメムシ被害
○有害鳥獣対策
○小中学校における不登校
○道路行政



若手人材の確保のために新たな奨学金返還支援制度の導入を!!



雨宮 茂樹 議員
公明党議員会

令和6年度、国は「地方就職学生支援事業」を新設し、来年度は支援が拡大される予定となっている。また、県も新たに県内の企業に就職し定住する者に対する奨学金返還支援を開始し、県内他市でも同様の動きが見受けられる。

そこで、東京圏へ進学した学生の移住先、就職先として本市を選んでもらうためには、市独自の奨学金返還支援の取り組みが必要と考えるが、市の見解を伺う。

答弁 佐藤教育次長

定住につながるような市独自の奨学金返還支援制度を調査・研究する

県で実施している奨学金返還支援

○危機管理体制
●地方就職学生支援
○GIGAスクール
端末の更新



制度は、県内の企業等への就職を条件として、奨学金返還を支援するものであり、故郷や地方での就職を望んでいる学生の県内への定住を促進する有効的な支援策である。

また、本市における貸与型奨学金制度は、若者の定住促進を目的とし、大学等の学生が、卒業後、市内に5年間定住した場合、奨学金の返還を全額免除する「住まいる奨学金」と、卒業後に返還が必要な「ゆめ応援奨学金」を行っている。その中で、「住まいる奨学金」については、市内への定住による返還免除の実績が多いことなど、一定の効果をっていると認識している。

一方、「ゆめ応援奨学金」については、併せて県の奨学金返還支援制度が利用できるメリットはあるが、必ずしも市内への定住につながるとは限らないことから、今後、市独自の奨学金返還支援制度について、先進地の事例を参考に関係部署と調査・研究していく。

一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

虐待は二度と起こさせてはいけない!!



大浦 兼政 議員
自民未来

令和6年2月に起きた「都賀幼稚園」の園児への虐待事件は、市の保育・教育の根幹を揺るがす大問題であると考えますが、なぜこんなにも園から改善計画・再発防止策が出てくるのが遅いのか。なぜ園側は全く反省していない発言を繰り返すのか。

今回の市の対応では、子育て中の家庭だけでなく、これから子どもを生み育てようとする方々も不安を感じるのではないかと。市当局は、今回の事件の影響をどう考えているのか、また、他の幼稚園との情報共有、虐待や不適切保育などの防止にどう取り組むのか伺う。

答弁 大川市長

各園と連携し不適切保育などの防止に関し意識高揚に努める

●どうして虐待事件をそのままにしておくの!?
栃木市の対応は間違っていますか?



市内の公立・民間園においては、毎日子どもの健やかな成長を第一に考え、保育士等が一生懸命教育・保育に取り組んでいると認識している。

また、過日、各園の園長等が集まった場において、幼児教育の大切さを直接訴えたところである。

これまでも、市内の各園とは連携を図りながら、研修会の開催や情報の共有化を図り、本市の教育・保育の質の向上に努めてきた。

そのため、今回の事案が発生したことにより、直ちに保護者と各園との信頼関係が失われるとは思っていない。

今後も各園と連携し、様々な研修等を通して、不適切保育などの防止に関し意識高揚に努めていく。



ゼロカーボンに向けて 紙おむつのリサイクルを



広瀬 義明 議員
自民未来

年々紙おむつの使用量が増加し、ごみ排出量の6%から8%を占めている。使用済み紙おむつは、現状、全て焼却処分となるが、多くの水分に加えて、一部に石油成分を含むため、焼却炉へのダメージや環境への影響が大きく、全国的に問題意識が広がってきている。

現在、環境省の指導の下、一部の自治体において、使用済み紙おむつのリサイクルの取り組みが始まっているが、二酸化炭素排出量の削減や再資源化推進の観点から、本市においてもリサイクルに取り組みむべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 茅原生活環境部長

使用済み紙おむつのリサイクルは循環型社会の形成につながる

○栃木市行財政改革
●紙おむつのリサイクル



紙おむつのリサイクルについて、環境省は2030年までに使用済み紙おむつの再生利用等の実施・検討を行う自治体の総数を100自治体とする目標を掲げているが、令和6年3月時点で、実証事業を行った上で社会実装している自治体は全国で21と少数であり、県内にはない。

リサイクルすることは、焼却設備への負担軽減、資源の有効活用による循環型社会の形成、また、二酸化炭素排出量の削減効果が期待できる。本市の現状把握をするともに、収集・運搬方法や再生利用方式、また、リサイクル事業者の状況、処理費用等について、先進自治体の事例を調査・研究していく。



一般質問の詳しい内容は二次元コードからアクセス

▶ より活発な栃木市議会を目指して（議会改革検討委員会）

議会改革検討委員会は、各会派から選任された議員で構成され、議会の改革に関する事項を検討し、議長に報告する組織です。

これまで、本委員会からの提案に基づいてさまざまな取り組みが具現化されました。

〈これまでに議会改革検討委員会の提案が実現した事例〉

- ・開かれた議会を目指した「インターネットやケーブルテレビによる議会中継」の実施
- ・効率的な運営を推進する「電子表決システムや議員用タブレットパソコン」の導入
- ・議会の審査能力の向上を図る「予算特別委員会・決算特別委員会」の設置

本年8月から新たな構成で、新たな検討を開始しました。より活発な市議会を目指して、協議を進めてまいります。

議会改革検討委員会委員

委員長：針谷 育造
副委員長：雨宮 茂樹
委員：川田 俊介
大浦 兼政
坂東 一敏
福田 裕司
白石 幹男

検討項目（協議過程で変更することも想定されます）

- ▶ 予算・決算について
（審査方法の再検討、政策提案など）
- ▶ 政治倫理条例について
（県内他市の研究、条例改正など）
- ▶ 議員研究会について
（運営方法の改善など）
- ▶ 一般質問について
（議論の深化に向けた取り組みなど）



▶ 議会改革の推進に関する議員研修を実施（栃木市議会議員研修会）

11月8日に、議員研修会を行い、長野県飯綱町の元町議会議長 寺島 渉先生から「議員のなり手不足対策と議会改革の推進」という演題で、議会改革等についてお話を伺いました。

研修では、寺島先生が議長として主導した飯綱町議会における改革の経緯、議会活動への町民参加の推進等について、ご自身の経験に基づき、議員の意識に変革が生じていく様子から、執行部や町民とのやり取りなど「議会改革の実際」に迫る貴重なお話を伺うことができました。



研修を終えて ～特集担当委員（白石委員長）コメント～

飯綱町議会の議会改革のきっかけは、第三セクターの経営破綻による裁判で町側が全面敗訴し、議会の議決責任が問われたことから始まったということでした。

今、栃木市議会も「サッカースタジアム問題」で同様なことが問われています。飯綱町議会が導き出した「追認機関からの脱却」、「チーム議会としての政策提言」、「開かれた議会、住民参加」を参考にし、「本気の議会改革」に取り組むことが私たち議員に求められていることを痛感しました。



▶ 皆さんの意見・要望等を議会に提出することができます

市民の皆さんは請願書・陳情書により、市議会に対して政治や行政に関する意見や要望を述べるすることができます。（市議会議員の紹介があるものを請願書として、ないものを陳情書として受け付けます。）

提出日によっては、日程の関係で、直近の定例会において審議することができなくなる可能性もありますので、提出のご意向がある場合には、あらかじめお問い合わせください。

（議会事務局 TEL 0282-21-2505）

表 紙	内 容
〇〇に関する請願書（陳情書） 請願人（陳情人） 住所 氏名 栃 木 太 郎 外〇名 紹介議員 〇〇〇〇 栃木市議会議長〇〇〇〇様	〇〇に関する請願（陳情） 1. 請願（陳情）の趣旨 2. 請願（陳情）の理由 令和 年 月 日 請願人（陳情人） 住所 氏名 栃 木 太 郎 栃木市議会議長〇〇〇〇様

- ・要旨は簡潔明瞭にまとめてください。
- ・要旨で場所を特定している場合は地図や略図を添えてください。
- ・提出年月日を記入し、議長あてとしてください。
- ・自署でない場合は押印が必要です。（多人数で提出する場合は、必ず代表者を決め、署名簿は本文の後に別紙で添えてください。）
- ・請願の場合は、1人以上の紹介議員が必要です。

○意見陳述について

請願・陳情の提出時に意見陳述を希望するかどうかをお伺いします。

提出者が希望する場合には、議会運営委員会において実施の可否を決定し、ご連絡をいたします。

中央会場

対象PTAブロック／栃木中央、栃木東部
参加者／PTA役員：14人、議員：8人

●物価高騰により影響を受けていること

- ・主食（米）が自由に食べられない ・塾、習い事の値上げ
- ・電気代が高い（オール電化なので） ・支出が増え心理的ストレス
- ・遠出するのが怖い（ガソリン、飲食） ・進学のための費用が心配

●必要な市からの支援

- ・栃木市内で使用できるお米券 ・給食費の無償化を
- ・地産地消の割引サービス ・子ども食堂事業者への補助拡充
- ・市内のガソリンスタンドで給油した時のクーポンやポイント

●主な発言の概要

- ・国や県に働き掛けて財源を確保しないと財政が逼迫してしまう。
- ・家族の人数が多いと負担が大きいの、人数をカバーする支援を。
- ・補助が出ないグレーゾーンの貧困家庭に修学旅行費の支援を。



北会場

対象PTAブロック／栃木西部、都賀、西方
参加者／PTA役員：12人、議員：9人

●物価高騰により影響を受けていること

- ・お米に手が出しにくい ・安い食材を選ぶためメニューに偏り
- ・大学授業料が上がっている（3年連続） ・家事の量が増えた
- ・農業資材（ビニール、肥料、薬）が高くなっている

●必要な市からの支援

- ・食料品の割引券の配布 ・就学時援助の収入のハードルを下げる
- ・家事代行サービス回数券 ・新規就農、規模拡大の際に補助金
- ・奨学金の利用枠の拡大 ・支援策の周知を徹底する

●主な発言の概要

- ・食べ盛りの子どものいる家庭への食費の援助があるとありがたい。
- ・家にいる時間が増えたことで、家事の量も増え、ストレスが増えた。
- ・支援策の周知は、子ども経由ではなく、親への直接的な周知が必要。



PTA役員との意見交換会に参加して ～特集担当委員（小平委員）コメント～

私が参加した北会場では、ガソリン代や水道光熱費、食料費、塾の月謝等の高騰による負担が大きいとの意見があり、それにより家族で外食する回数の減少や家族旅行を控えるなどの家族だんらの頻度や内容に影響が出ていました。また、市に対してはお米券の配布や給食費のさらなる無償化などの支援を求める意見が出されました。

物価高騰のなかでも安心して子育てが行えるようにするために、いただいたご意見が市政に反映されるようしっかりと取り組んでいく必要があると感じました。



議 会 報告会

PTA役員の皆さまとの意見交換会 を開催しました

本年度も議会報告会（意見交換会）を11月に実施しました。

議会報告は書面や動画などのさまざまな方法により発信し、市民の皆さまからアンケートによりご意見を伺いました。意見交換会は「物価高騰による生活への影響について」をテーマとし、物価高騰の影響が長引くなか、特に子育て世帯の家計への影響について意見を聞き、支援のニーズを把握するために、小中学生の子育て中であるPTA役員の方を対象に開催しました。

今号では、PTA役員との意見交換会の様子やいただいたご意見の一部を紹介します。

PTA役員との意見交換会の概要

●開催方法

全議員で3班を編成、議員が各地域（3会場）に出向き、付箋紙と模造紙を使ったワークショップ形式により開催しました。参加者は、各公立小中学校PTA役員から1～2名程度を募集しました。

●意見交換会の内容

テーマである「物価高騰による生活への影響」について、2つのステップで意見交換を行いました。

ステップ1では、物価高騰により日々の生活や子育て、学校生活、教育などのさまざまな分野において、どのような影響があるのかについて意見を出し合い、物価高騰による影響の現状把握と共有を行いました。

ステップ2では、ステップ1で共有した現状を踏まえ、市からこんな支援があったら助かると思うことについて意見を出し合い、支援ニーズの洗い出しを行いました。

●日程・会場

	日 程 ※全日程18時30分～	会 場
南会場	令和6年11月19日（火）	岩舟公民館
中央会場	令和6年11月20日（水）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館
北会場	令和6年11月26日（火）	北部健康福祉センターゆったり～な



南 会 場

対象PTAブロック／大平、藤岡、岩舟
参加者／PTA役員：18人、議員：12人

●物価高騰により影響を受けていること

- ・食費（子どもがいるのでおかずの数は減らせない）
- ・外食する機会が減った ・学用品の値上がり ・修学旅行積立
- ・学校の備品が足りない ・体験機会の減少 ・おむつが高い

●必要な市からの支援

- ・使う回数や時期が限られる学用品は学校で保管、管理して貸与する
- ・制服バンク（リサイクルポイント制、制服を統一）
- ・保育園のおむつ等のリース代（サブスク）

●主な発言の概要

- ・親への補助もありがたいが、子どもたちの学ぶ環境への投資を。
- ・家庭の経済状況によって体験格差が生じている。
- ・アレルギー対応食品は通常よりも高く、弁当を作る負担が大きい。



MONITOR
INTERVIEW

38

モニターインタビュー No.38

議会だよりの紙面を充実させるため、アンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。 (今回のインタビュアー：小平委員)



議会広報紙モニター
佐藤 祐樹さん

Q：モニターになったの感想は

A：子育て中の私にとって、身近な問題である物価高騰による生活への影響や子育て支援について、議会で議論されている具体的な過程を確認できて、議会や議員の存在をより身近に感じるようになりました。

Q：議会だよりに望むことは

A：県内の自治体の中でも栃木市は厳しい財政状況だということなので、市の行政執行に対し、議会がどのように改善に向けた対応を進めているかを市民に説明してもらいたいです。

Q：市に望むことは

A：市民活動では子ども食堂の運営に携わっています。また、障がい者福祉の現場で働いています。就労支援や地域活動を通して障がい者の方がより生きがいを感じる社会になるような行政を期待したいです。

3月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、2月20日(木)に新聞折り込みを予定しています。

一般質問の様子は、ケーブルテレビや市議会のホームページからもご覧いただけます。

ぜひ、ご覧ください。



栃木市
マスコットキャラクター
とち介

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20	21	22
					本会議 議案等提案 予算特別委員会	
23	24	25	26	27	28	3/1
天皇 誕生日	振替休日			本会議 『一般質問』		
2	3	4	5	6	7	8
	本会議 『一般質問』			予算特別委員会 会派代表質問	常任委員会等 (総務)	
9	10	11	12	13	14	15
	常任委員会等 (民生)		常任委員会等 (産業教育)	(建設)		
16	17	18	19	20	21	22
				春分の日	予算特別委員会 分科会長報告	
23	24	25	26	27	28	29
			本会議 議案等採決			

※常任委員会等…常任委員会および予算特別委員会分科会

あとかき

このたびも「議会だより」をご覧いただきありがとうございました。この号では12月に開催された定例議会の議論内容や議決された重要事項について詳しくお伝えしました。

今後も、皆さまの暮らしに関わるさまざまな課題について議論を重ね、より良い地域づくりに向けた取り組みを進めてまいります。「議会だより」に対するご感想やご要望などがございましたらお気軽にお寄せください。

市民の皆さまとの対話を大切にしながら、地域発展に向けた、そして次世代に向けた取り組みを進めてまいります。

(川田 俊介 記)



▲議場の議席です

栃木市議会広報委員会

委員長
副委員長
委員

白石 幹男
川田 俊介
小太刀 啓佑
小澤 ち子
古海 浩明
内海 明
天谷 明

目の不自由な方のために、市内の朗読ボランティアが議会だよりの音声テープを作成しておりますので、ご入用の方はお気軽に議会事務局までお問い合わせください。〈TEL：0282-21-2505〉